

大学の「今」をもっと知りたい!!

IKUYU

ISHINOMAKI
SENSHU
UNIVERSITY

石巻専修大学
育友会広報誌

[いくゆう]

vol.28

2022.03



特集

石巻専修大学×高校×産業が拓く

地域の未来形

石巻専修大学×高校×産業が拓く 地域の未来形

本学では、これからの地域を支えていく人材の育成と地域の活性化を目指した「高大産(高校・大学・産業)連携プロジェクト」を2016(平成28)年4月から推進しています。これらのプロジェクトでは、石巻地域の高校や企業などと連携しながら、それぞれの強みや特色を最大限に引き出し、より心豊かな未来社会を創出していきます。



Pepperプログラミング教室プロジェクト

ICTを活用できる人材の育成に向けた教育の一環として、ソフトバンク株式会社と石巻市教育委員会の協力のもと、小学校の児童を対象にPepperを使ったプログラミング教室を行いました。

- 小学校：石巻市立湊小学校
- 企業：ソフトバンク株式会社
- 自治体：石巻市教育委員会
- 石巻専修大学：理工学部機械工学科
高橋 智 准教授 研究室
人間学部人間教育学科
横江 信一 特任教授ゼミナール



「SDGs WEEK2021」 Pepper展示プロジェクト

2021(令和3)年9月にイオンモール石巻で開催された「SDGs WEEK2021」(主催：石巻市・イオンモール石巻(共催))で、本学のSDGsに関する取り組みをPepperが紹介しました。Pepperに搭載されたコンテンツは本学の学生が開発したものです。

- 企業：ソフトバンク株式会社
- 自治体：石巻市
- 石巻専修大学：理工学部機械工学科
高橋 智 准教授 研究室
経営学部経営学科
庄子 真岐 教授 ゼミナール



理工学部
機械工学科では、
Pepperを活用した
「次世代の学び」を
展開しています!

こめぼこ商品化プロジェクト

商品開発の実践的な機会を通して、商品の企画から製造、販売までの一連のプロセスの中で社会性を学びながら、地域の資源や産業の理解を深め、地域の人材育成と活性化を目指します。

- 高等学校：石巻北高校、宮城県水産高校
- 企業：株式会社高橋徳治商店、石巻信用金庫、株式会社楽天野球団
- 石巻専修大学：経営学部 杉田 博 教授 ゼミナール



ロボットプログラミング体験教室

小学校のプログラミング教育が必修化され、総合的な学習の時間における実践的なプログラミング学修の一環として、イベント型プロジェクト「ロボットプログラミング体験教室」を実施しました。大学生がトレーナーとなり、小学生のロボット組み立てやプログラミングのサポートを行い、ものづくりの楽しさを共有しながら、科学技術に関する知識を深めました。

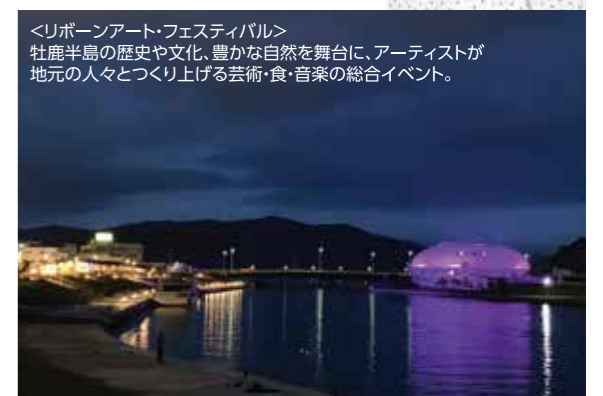
- 小学校：東松島市立大塩小学校
- 協力団体：家族ロボット教室の会
- 石巻専修大学：経営学部経営学科 工藤 周平 教授 ゼミナール
人間学部人間教育学科 横江 信一 特任教授ゼミナール



リボーンアート・プロジェクト

石巻圏域で開催される地域振興イベント(リボーンアート・フェスティバル)への参加やイベントに関連する調査を通じて、地元の高校生・大学生がイベントの担い手となる力を身につけました。

- 高等学校：石巻高等学校
- 石巻専修大学：経営学部経営学科 庄子 真岐 教授 ゼミナール
- 協力団体：一般社団法人 Reborn-Art Festival



<リボーンアート・フェスティバル>
社鹿半島の歴史や文化、豊かな自然を舞台に、アーティストが地元の人々とつくり上げる芸術・食・音楽の総合イベント。

経営
学部

Faculty of Business Administration

新学科誕生から1年
経営の未来をデザインする
情報マネジメント学科



2021年4月、本学経営学部にて「情報マネジメント学科」が新設されました。本学科の学びの特徴としては、学生参加型であることがあげられます。1年次から演習科目がありますので、学生は常に高い意識を持って、主体的に学ぶことができます。2021年7月の「フレッシュマンセミナー」では、宮城交通株式会社様ご協力のもと、各グループで進めてきた「石巻専修大学へのアクセスの利便性向上の研究」をテーマに、尾池学長へのプレゼンテーションを実施しました。大学までのアクセスについては、学生にとっても身近な問題だけに、バスの運行数や距離、費用など、さまざまなデータをもとに演習が行われました。

本学科で学年が進むと、経営系・データ解析系・情報技術系という3つの分野で学びを深めていくこととなります。データに基づいた学びを軸に、経営と情報技術の両面にわたる専門知識を身につけることで、将来はマーケットと技術者の橋渡し役として幅広く活躍することが期待されます。



経営学部 情報マネジメント学科
主任 工藤 周平

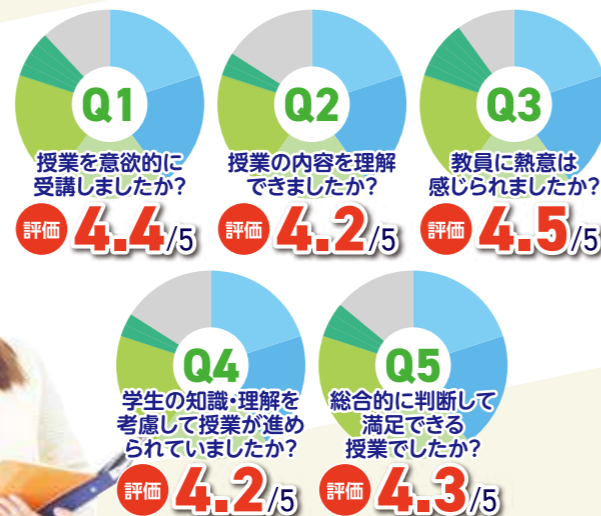


データが出た!!

「学生による授業評価」アンケート結果より

2021(令和3)年度の
学生による授業に対する評価

本学では学生生活満足度に関するアンケートを実施しています。今回は学生の授業に対する評価を調査し、満足の度合いを5段階で算出してみました。どの質問に対しても比較的高い評価が得られています。



理工
学部

Faculty of Science and Engineering

新しい理工学部の未来を拓く
-「インターフェイス」の魅力とは?-



理工学部長
佐々木 洋

理工学部は令和4年4月から新しい教育課程に再編されます。理学と工学を融合し新しい科学の世界を広げようとするのが理工学の特徴です。生物学、物理学、化学、工学などの垣根を超えた多様な分野の学びが可能です。それらに共通するキーワードが「インターフェイス」です。元々「接点」や「共有領域」を意味しますが、最近では「コンピューターと人との接点」を指す用語としても使われています。隣り合う一方の分野と他方の分野を「インターフェイス」を通して結び付けることで、統合された新しい分野が生まれると予想する学者もいます。「インターフェイス」によって新しいものが生まれる可能性を理工学部は持っていると言えるでしょう。

生物科学科には4コース(海洋生物・環境・動物・植物/微生物・生命分子/自然科学)が設置され、それぞれが独自性を保つ一方で、インターフェイス的な相互乗り入れを重視しています。

機械工学科は2コース(機械創造/自動車)、情報電子工学科も2コース(情報通信/電気電子)を設置します。2学科に共通してデジタル教育とモノづくりの基礎教育から始めます。インターフェイス的に融合し、さらに少人数教育を実現させることが特徴です。

人間
学部

Faculty of Human Studies

人間と地域の文化的創生を学ぶ

人間学部は、人間と文化の相互関係の理解に向けて人間の文化を多角的な視点から考究し、地域の文化、生活、社会の発展と向上に寄与することを目的としています。人間学部人間文化学科では、2022(令和4)年度よりコース制がスタートします。

異文化理解・芸術文学コース

異文化理解と芸術文化に関する研究をとおして、文化の振興・発展に貢献できる人材を育成するコース。異文化に関する多角的な知識とそのためのツールとなる諸言語(外国語教育を含む)の運用能力、文学を含む芸術一般に関する幅広い知識を身につけます。それらの知識をもとに、文化に関する各種情報を収集・分析し、その成果を的確に情報発信する力や、地域における各種文化振興に主体的に取り組む態度と能力を育てます。



地域社会支援コース

地域社会の創成・発展に貢献できる人材を育成するコース。地域社会に焦点を当て、コースの基幹分野として地域における社会教育や産業、政策について学ぶとともに、周辺科目として福祉学・心理学の分野からも体系的に学びます。それらの知識をもとにさまざまな課題研究を行うことで、地域社会の現状と課題について多角的に理解し、地域社会の問題解決に向けた提案を行うことができる力を養います。





本学の2021年度を振り返って、保護者の皆様にお伝えしたい、学生たちの様々な活動や輝かしい功績の数々や、学校の取り組みをご紹介します。今年度も、地域との連携やSDGsなど本学ならではの取り組みにもより一層力を入れてきました。

硬式野球部

春季リーグ戦優勝 全国大会に出場

5月15日(土)に、南東北大学野球春季リーグ戦の優勝決定戦が福島・ヨーク開成山スタジアムで行われ、対日本大学工学部に7対2で勝利し、2017年春季以来、7季ぶりとなる7度目の優勝を決めました。先発したエース左腕・齋藤智哉投手(経営学部4年)が、6回2失点(自責点1)と好投し試合の主導権をがっちり握り、打線では4番・小林純也(経営学部4年)が3安打の猛打賞でチームを牽引しました。

6月7日(月)、「第70回全日本大学野球選手権記念大会」の第1試合で天理大学(阪神大学野球連盟代表)に敗れましたが、最後まであきらめないプレーを見せ、スタンドを沸かせました。



【1回裏】先発・齋藤智哉 10番

女子競走部

杜の都駅伝 4年連続出場

●合計タイム/2時間23分10秒 ●総合順位/24位



第39回全日本大学女子駅伝対校選手権大会(杜の都駅伝)が10月31日(日)、宮城県仙台市の弘進ゴムアスリートパーク仙台をスタート、仙台市役所前市民広場フィニッシュの6区間38.1kmのコースで行われました。

4年連続6度目の本戦出場(オープン参加含む)となった女子競走部は、序盤に先頭集団から離される苦しいレースを強いられ、5区から6区にタスキを受け渡す第5中継所で、無情にも繰り上げスタートが宣告され「石巻専修大学」の名が入った緑色のタスキを最後まで繋ぐことはできませんでした。それでも、選手全員が最後まで諦めない走りを見せ、総合24位で大会を終えることができました。

ロボット研究会

世界大会2年連続入賞 ~仙台の課題を踏まえたSDGsの提案~

12月4日(土)・5日(日)にオンラインで開催された「アイデアソン・仙台2021」に本学ロボット研究会「ROGERIO」が初出場し、オープンデータ活用奨励賞を受賞しました。アイデアソンとは、オープンデータを活用し、仙台都市圏の地域課題を解決する新しい仕組みやサービスを提案する大会です。学生たちは、冬期の路面凍結によるスリップ事故が多発している点に着目し、リアルタイムで路面凍結箇所の位置情報をドライバーに知らせ、未然

にスリップ事故を防ぐシステムを提案しました。

さらに、12月19日(日)には、中国、タイ、ドイツ、スイスなど、各国の強豪16チームが参加した「iCAN'21」の世界大会にオンラインで出場しました。水野教授指導のもと、今野さんがプロデュースした「路面状況検出システムII」を英語でプレゼンテーションし、見事、2年連続で「Second PRIZE」を受賞する快挙を成し遂げました。



「2021石鳳祭(オンライン大学祭)」が開催

10月9日(土)に「2021石鳳祭」が開催されました。学生企画は4つの企画を用意し、YouTube生配信と一部は対面方式で実施しました。テーマの「Reboot(再起動)」には、コロナ禍で通常開催ができない中でも、石鳳祭実行委員会の活動継続や、新たな一歩を踏み出そうという気持ちが込められています。先輩方が作り上げた歴史に、新たな挑戦を加えて石鳳祭を開催したいという、強い想いのこもった大学祭になりました。



【人間教育学科】障害者支援施設で見学・体験実習を実施 ~2月の施設実習に向けて~

8月4日(水)に人間教育学科の3年次生が障害者支援施設「ひたかみ園」と「石巻市かもめ学園」の見学・体験実習を実施しました。

特命教員の齋藤康隆先生からは「保育士として社会に出ていく際、障害のある子どもたちとの出会いは必ず訪れます。障害の有無で物怖じすることなく、その子たち一人一人の個性を活かした療育・保育を考えられる保育士になるための勉強をこれからも行って欲しい」と、激励の言葉を頂きました。



【経営学科】李ゼミ開発「のりうらら」発売

11月26日(金)、経営学部経営学科李東勲ゼミが東松島市の海苔を使って開発した「のりうらら」が発売され、「東松島あんでなしよっぴまちんど」で商品発表・試食会が行われました。

李ゼミでは、東松島市の特産品である「海苔」の良さと魅力を広めることを目的に、2019年春から「東松島市産の海苔のブランド化を目指すプロジェクト」を開始。地元企業や漁業者と協力して新商品の開発に取り組んできました。開発にあたって、ゼミ生は海苔に含まれる栄養素(葉酸、ビタミン、食物繊維)に着目。同じく美容効果が期待できる梅を加えて、食べやすく簡単に美容成分を摂取できる梅海苔ペーストに仕上げました。



【機械工学科】毎年恒例! 日本カーシェアリング協会「学生整備プロジェクト」に協力

一般社団法人日本カーシェアリング協会が保有する車のタイヤ交換と点検を本学の学生が実施するプロジェクトで、2013年から毎年、春・秋の年2回協力しています。

今回は、自動車工学コースの14名が参加。カーシェアリング協会で所有している、コミュニティ・カーシェアリング車両をはじめ、NPO活動等にご利用頂いているソーシャル・カーリース車両などを中心に、52台の車のタイヤ交換やオイル交換などを行いました。



【サイクリング愛好会】松島基地ランウェイライド2021に協力

10月16日(土)、航空自衛隊松島基地で開かれた松島基地ランウェイライドにサイクリング愛好会がスタッフとして参加しました。松島基地ランウェイライドは、航空自衛隊松島基地の滑走路を自転車で行く毎年恒例のイベントで、今年は約200名が参加しました。

サイクリング愛好会の学生7名と部長の梅山光広教授、坂田隆名誉教授は、全長3.4Kmのコースを参加者と一緒に走行し、コース変更の声かけや故障等の対応を行い、参加者の走行をサポートしました。

日本経済新聞にて本学の取り組み「スマートコーチ」が紹介されました。

ソフトバンク株式会社が「日経SDGs経営大賞」の社会価値賞を受賞したことに伴い、日本経済新聞の紙面にて、ソフトバンク株式会社と石巻専修大学で行っている「スマートコーチ」が紹介(12月17日掲載)されました。スマートコーチは、スマートフォンやタブレットなどを活用して、知識や経験が豊富なコーチが部活動を遠隔でオンラインからサポートするソフトバンクが提供するICTのツールで、本学では野球部に所属する学生がコーチとなり、遠隔から石巻市内の中学校野球部などを技術指導しています。



「顔の見える支援」を基本に、 学生一人ひとりの可能性を力強くバックアップします。

1989(平成元)年の開学以来、2万名近い卒業生を輩出している本学では、学生一人ひとりが目指す職業に就き、生涯にわたって個々の力を発揮できるようにキャリア支援に力を入れています。「顔の見える支援」を基本に独自の支援プログラムで就職活動の全プロセスをサポートし、ガイダンスや実務体験を通じて実践力を強化しています。



顔の見える支援

石巻専修大学のキャリア支援の強み

就職相談員による「顔の見える支援」

本学では就職相談員(キャリアコンサルタント等)を配置し、教職員が連携して「顔の見える支援」に力を入れています。

内定者就活・体験相談会

内定者就活・体験相談会では、オンラインで4年次の内定者が3年次生に直接アドバイスする機会を設けています。

学生就活サポーター

4年次生(内定者)が後輩の話を聞くコーナーです。進路に関する相談など、気軽に立ち寄れます。
※新型コロナウイルス感染症の影響により、中止しています。

就職活動総合セミナー

自分自身の課題を見つけて、面接試験対策を行い、直前の就職活動に備えます。
※新型コロナウイルス感染症の影響により、中止しています。



各種資格取得講座

在学中に指定された授業科目を履修して学ぶことによって、多様な免許や資格を取得することができます。授業だけでなく課外の資格講座によるサポートもあるため集中して取り組みます。職業人として必要な技能の習得を目的に、会計士講座、日商簿記講座、公務員試験受験対策講座、パソコンスキル(Microsoft Office Specialist、ITパスポート、基本情報処理技術者、3次元CAD)講座、TOEIC IP試験など、幅広い分野の資格取得を支援しています。また、高度資格取得者には、奨学金を給付する「キャリア支援奨学生」制度を設けています。

合同企業説明会

本格的な就職活動が始まる3月には、オンラインで約200社が参加して実施します。興味や関心のある企業・団体の情報を効率よく入手することができ、企業へのアピールの場にもなります。

就職支援システムIS-NET

本学では就職活動を支援する求人検索システムS-netを設置。リアルタイムで求人データを検索できます。

学外機関連携

宮城県東部地方振興事務所と連携した「地元就職応援プロジェクト「伴走型支援」」、石巻商工会議所と連携した「インターンシップ事業」、ハローワークアドバイザーによる求人紹介と就職相談などを行い、石巻圏域への就職を支援しています。この他、東北各県の就職支援団体と連携して情報発信と個別相談対応を行い、地元Uターンへの就職支援を行っています。



資格取得講座



合同企業説明会(対面実施時)

学外との連携による就職支援3つのポイント

1 専修大学主催 セミナーへの参加

専修大学主催の「就職活動支援各セミナー」に専修大学の学生とともに参加します。SPIオンライン準備講座、SPIオンライン模擬試験など受講が可能です。

2 専修大学キャリア 形成支援課の利用

首都圏で就職活動を行う拠点として、専修大学神田校舎、生田校舎のキャリア形成支援課を利用することができます。

3 ハローワークアドバイザー による求人紹介とアドバイス

毎週木曜日、ハローワーク担当者が来学して「新卒応援ハローワーク相談コーナー」を就職資料室に開設しています。相談はもちろん、地元の求人情報の入手も可能です。

COLUMN

マナー・コミュニケーション講座を開催

本学では、より実践的な就職支援の一環としてマナー・コミュニケーション講座を開講しています。本番での面接を想定しながら、就職活動にかかわる具体的なマナーを身につけることで、実践スキルに磨きをかけています。



COLUMN

保護者のための就活コラム

親の時代の就活と現在の就活では状況も方法も違ってきます。お子様とは過干渉にならないよう適度な距離感を保ちながらも就職についてのお話をする機会を是非設けてください。

就職活動の費用について

この春卒業予定者に就職活動の費用について聞いたところ、従来の「リクルートスーツ代」、「交通費」、「宿泊費」、「材料費」等の費用は減りました。その一方、Web説明会やWeb面接・Webテストなどが増え、この対応のためネット回線(通信環境)の整備、ノートパソコン・Webカメラ・Webマイク・LEDライト・プリンターなど機材の購入に係る費用が増えたとの声があがっています。

就活で親にしてほしくなかった事ランキング

- ① 過度な干渉
- ② 親の希望の押し付け
- ③ 希望企業の否定
- ④ 知人との比較
- ⑤ 無関心

※参考：就活で親にしてほしくなかった事アンケート(上位5点)

大学の進路支援室主催 **プログラムの徹底活用**
進路支援室は情報やデータの宝庫です。積極的に活用してください。

育友会 活動報告

全国の育友会 支部長からの

メッセージ Message

北海道 青森県 支部



北海道・青森県支部長
杉沢 福巳

北海道・青森県支部長の杉沢福巳です。今年度はコロナ禍でありましたが、感染防止対策を講じながら青森会場の部懇談会を無事開催することができました。お越し頂きました会員の皆様ありがとうございました。来年度は、今年度以上の多くの参加者にお越しいただき、意見を交わして情報交換できればと思っています。会場でお会いできることを楽しみにしておりますので、ぜひお越しください。



関東 支部



関東支部長
石井 比呂志

関東支部長の石井比呂志です。今年も新型コロナウイルス感染症の影響で支部懇談会が開催されず大変残念でした。支部懇談会は、学業や就職などについて、先生や職員の方から多大なサポートを受けていることを実感できる大変有意義な機会です。また、ランチを摂りながらのぞくばらんな語らひも楽しいひと時です。早くこのようなことができるよう切に願っています。この支部懇談会が、令和4年度開催されましたら、折角の機会ですので、皆様参加されますようお願いしております。



※写真は一昨年度のものです。

宮城県 支部



宮城県支部長
遠藤 宏昭

宮城県支部長の遠藤です。今年度はコロナ禍でありましたが、感染防止対策を講じながら石巻会場と仙台会場で支部懇談会を無事開催することができました。お越し頂きました会員の皆様ありがとうございます。次年度も引き続き実施していきますので、多くの方が参加いただけるよう、お待ちしております。



福島県 支部



福島県支部長
石田 絢子

福島県支部長を務めさせていただきました石田絢子です。今年度は新型コロナウイルス感染対策を講じながら、無事福島会場の支部懇談会を開催することができました。お越し頂きました会員の皆様ありがとうございます。

子供たちは、大学生活も一変し、制約のあるなか、一人ひとり自分にできることを精一杯前向き取り組み行動していることと思います。教職員の皆様には子供達・保護者への温かいご支援とご配慮に心より感謝申し上げます。来年度の支部懇談会では、たくさんの方の会員の方とお会いできることを楽しみにしております。



九州 沖縄 支部



九州・沖縄支部長
上田 博

新型コロナウイルス感染症の流行による混乱で、育友会活動が行えず残念に感じております。

一刻でも早く育友会活動が再開でき、子供達の学生生活が明るく安全に送れるように願っております。



※写真は一昨年度のものです。

石巻専修大学育友会
主任からのメッセージ

コロナ禍における育友会

育友会は学生諸君のご家族の皆様と大学との間で緊密に連携を持つことにより学生諸君の学生生活と社会への旅立ちを支援するための組織です。

今年度は、新型コロナウイルス感染症が繰り返し拡大したため、10月の大学祭(石鳳祭)が対面で実施できませんでした。したがって、育友会活動を広く多くの皆様に知っていただき、そして育友会員同士の交流を促すことを目的とした、育友会企画「餅つき体験と餅の振る舞い」が実行できなかったことはたいへん残念なことでした。

育友会としては、非対面での大学祭をがんばって実行する石鳳祭実行委員会の学生たちに紅白餅をふるまい、大学祭を応援しました。

コロナ禍で学生たちは大学祭の在り方を考え、そして育友会は、育友会活動の在り方を考える良い機会となりました。

また今年度は、東北地方をはじめ国内の多くの地域で感染縮小が認められた初冬に、東北6県で「支部懇談会」が開催できたことは大変喜ばしく思います。年度初めに計画した事業をすべて行うことはできなかったものの、いくつかの事業を行うことができたのは、皆様のご協力のおかげであり、育友会の役員ならびに大学関係者一同衷心よりお礼を申し上げます。

初めに述べたように、育友会は“学生諸君の学生生活と社会への旅立ちを支援するための組織”です。それには、学生諸君の大学での勉学、課外活動、就職活動など石巻での生活の様子をできるだけ多くご家族の皆様にお伝えすることが重要な役割の一つだと考えています。大学のホームページ内にある育友会ページは、大学のホームページのトップ画面の上部にある「保証人」をクリックすると「育友会」があり、それをクリックすると育友会のページを開くことができます。今後も、この育友会のページをどんどん活用して、先に述べたように石巻での学生諸君の生活の様子をご家族の皆様にごできるだけ早くそして多くお伝えしたいと思っています。どうぞ、ご子女の勉学や大学生活についていつでもスマホなどで気軽にご相談ください(ikuyu@isenshu-u.ac.jp)。そうした不安或いは疑問に育友会の役員と教職員が協力してご返事させていただきます。そして、本学に対する忌憚のないご提言やご意見もお聞かせくださいますようお願い申し上げます。



石巻専修大学育友会 主任
理工学部 教授

松谷 武成

ごあいさつ



石巻専修大学育友会
会長 三浦 浩

会員の皆様には、育友会に対して日頃よりご支援ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。育友会は「大学と学生の家庭との連絡を密にし、大学の発展・向上に寄与し、会員相互の親睦を図る」という役割を担うため、保護者の皆さまの要請を受けて平成3年(1991年)に発足いたしました。そして30年余り、ご子女の成長を見守りながら様々な活動を事業計画に基づき実施して参りました。

支部懇談会につきましては、長らく新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期していましたが、今年度は東北地方をはじめ国内の多くの地域で感染縮小が認められることから、感染防止対策に万全を期する体制を取ったうえで、東北6県で開催しました。支部懇談会への参加者は、全体で56組、延べ79名でございました。相談内容は、学業・就職活動・資格取得そして学生生活のことについて質問を頂き、学科所属の先生方に丁寧にお答えいただきました。

新入生、そしてご家族の皆さまは大学生活という新しい生活環境に慣れながらも、戸惑いや不安を感じることもお有りかと存じます。また上級生及びそのご家族の皆様は、厳しい就職戦線の只中におられ、親としてどのように立ち居振る舞えばよいか悩むこともあろうかと思えます。

育友会では、学生の安全・安心に係る取り組みとして、今年度も1年次生に「電子体温計」を提供しました。「電子体温計」はぜひご子女に携行させていただき、活用いただければ幸いです。また、学生への助成として就職活動用具の提供や、サークル活動への支援を行っております。この他、大学の防災・防犯面の支援や学生に有益な空間作りのための支援も行っております。これからご子女が、皆様方のご理解、励ましの中で大きく健全に大学を巣立っていくために育友会が多くの実績を積み重ね、役割を果たしてまいりたいと考えておりますので、会員皆様のご支援ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

令和三年度 育友会役員紹介

役職	氏名	学部/学科・学年
会長	三浦 浩 (みうら ひろし)	経営/経営・3年
副会長 兼関東支部長	石井 比呂志 (いしい ひろし)	理工/食環境・4年
監査役	西川 敦子 (にしかわ あつこ)	経営/経営・3年
監査役	山本 美智子 (やまもと みちこ)	人間/人間教育・2年
北海道・青森県支部長	杉沢 福巳 (すぎさわ ふくみ)	理工/生物科学・3年
宮城県支部長	遠藤 宏昭 (えんどう ひろあき)	人間/人間教育・2年
福島県支部長	石田 絢子 (いしだ じゅんこ)	経営/経営・3年 人間/人間教育・2年
副会長 兼関東支部長	石井 比呂志 (いしい ひろし)	理工/食環境・4年
九州・沖縄支部長	上田 博 (うえだ ひろし)	経営/経営・4年
相談役	藤原 悟 (ふじわら さとる)	経営/経営・H27卒



令和二年度 事業報告について

1 育友会員との連絡強化と育友会広報活動

- 会員ご子女の「修学状況通知書(成績)」, 「履修届(写)」を送付した。
- 大学の概要や育友会の活動等を広く広報するため、会報「いくゆう」(第27号)を発行した。
- 学校法人専修大学が発行し、本学を含む2大学の活動状況を伝える新聞「ニュース専修」を毎月送付した。(年11回)
- 「育友会ホームページ」にて各種行事等の案内や情報提供を継続して行った。

2 会議の開催

- 定期総会は書面決議で行い、その他の会議は中止した。
- 定期総会 令和2年5月31日(日)【書面表決】
 - 役員・幹事・支部長会 令和2年10月11日(日)【石巻祭】
令和3年3月20日(土)【学位記授与式】

3 育友会支部懇談会の開催

- 支部懇談会は開催を中止した。

開催地	開催日	会場
宮城(石巻)	12月6日(日)	石巻専修大学

4 大学祭への参加

- 会員育友会の企画として大学祭に参加することを検討していたが中止した。

5 学生への助成

- 3年次生が就職活動を開始するために必要となる就職活動用グッズを配付した。

6 学生に対する援助

- サークル活動に対する援助を行った。

7 卒業記念行事

- 大学及び同窓会と提携して、令和3年3月20日(土)学位記授与式挙行後、「卒業を祝う会」を実施する予定であったが中止した。

8 福利厚生費の活用

- 学生の安全と安心に係る防災用品および備蓄品を購入するための経費を大学へ寄付した。
- 令和2年度は育友会支部懇談会が実施できず、保証人および在学生に有益な機会の提供ができなかったため、在学生に対して学生生活の安心・安全に係る「電子体温計」を提供した。

9 活動強化事項

- 大学と家庭(会員:保護者)との連絡強化を図るため、支部懇談会への参加者を増加させる取り組みは行うことが出来なかった。
- 支部ごとに会合等を開催する場合には地方支部交付金を支給し、経費の補助を行うとしていたが、支部懇談会を開催できなかったため支出しなかった。
- 支部懇談会では、地元で活躍する卒業生又は就職活動で内定を得た4年次生の就職活動体験報告を行う機会を設けていたが実施しなかった。

以上

令和二年度 育友会収支決算書

[自]令和2年4月1日 [至]令和3年3月31日

● 収入の部

単位:円

科目	予算額(A)	決算額(B)	比較増・減(A)-(B)	備考
① 会費	13,560,000	13,380,000	180,000	会費@10,000×1,338名
② 雑収入	1,000	17,527	△ 16,527	預金利子、令和元年度 陸上競技部及びバスケットボール愛好会援助金未使用戻入(17,436円)
収入計	13,561,000	13,397,527	163,473	
前年度繰越金	3,011,674	3,011,674	0	
合計	16,572,674	16,409,201	163,473	

● 支出の部

単位:円

科目	予算額(A)	決算額(B)	比較増・減(A)-(B)	備考
① 会議費	113,000	0	113,000	
総会費	50,000	0	50,000	定期総会開催費
役員会費	60,000	0	60,000	常任役員・幹事・支部長会開催経費
その他の会合費	3,000	0	3,000	大学関係者との会合開催経費
② 通信費	1,800,000	1,676,444	123,556	
会報発送費	100,000	94,385	5,615	「いくゆう」発送費
ニュース専修発送費	1,000,000	1,054,379	△ 54,379	発送費(年11回)
その他の通信費	700,000	527,680	172,320	育友会案内発送費、学業成績発送費、事務連絡発送費、はがき代、切手代
③ 事務費	1,860,000	279,386	1,580,614	
旅費交通費	1,010,000	0	1,010,000	常任役員・幹事・支部長会の旅費交通費
消耗品費	500,000	49,867	450,133	事務用消耗品、公衆衛生用消耗品
事務委託費	350,000	229,519	120,481	ニュース専修発送手数料、「いくゆう」発送委託料
④ 印刷費	900,000	649,719	250,281	支部懇談会等資料印刷、封筒印刷、「いくゆう」制作・印刷
⑤ 支部懇談会費	2,800,000	0	2,800,000	会場借料、懇談会食事代、担当者旅費交通費、外部講師講演代、卒業生等の講話謝礼金、支部懇談会打合せ食事代
⑥ 支部交付金	140,000	0	140,000	地方支部運営交付金(会費等の補助)
⑦ 学生助成金	200,000	221,500	△ 21,500	就職活動用グッズ等購入代
⑧ 学生援助費	5,000,000	2,950,000	2,050,000	サークル活動援助金(強化指定団体・全国大会出場団体等を重点的に支援)
⑨ 卒業記念費	220,000	0	220,000	「卒業を祝う会」開催経費
⑩ 慶弔費	100,000	0	100,000	会員・学生の慶弔費
⑪ 福利厚生費	2,500,000	2,799,660	△ 299,660	学生生活の環境を充実させるための経費として電子体温計代(1,320本)、防災用品および備蓄品等の経費
⑫ 雑費	120,000	20,900	99,100	銀行振込手数料
⑬ 予備費	819,674	0	819,674	
支出計	16,572,674	8,597,609	7,975,065	
次年度繰越金	0	7,811,592	△ 7,811,592	
合計	16,572,674	16,409,201	163,473	

令和三年度 事業計画について

Business Plan

1 育友会員との連絡強化と育友会広報活動

- 会員ご子女の『修学状況通知書(成績)』、『履修届(写)』を送付する。
- 大学の概要や育友会の活動を広く広報するため、会報『いくゆう』(第28号)を発行する。
- 学校法人専修大学が発行し、本学を含む2大学の活動状況を伝える新聞『ニュース専修』を毎月送付する。(年11回)
- 『育友会ホームページ』にて各種行事等の案内や情報提供を継続して行う。

2 会議の開催

- 育友会の円滑な運営を行うため次の会議を開催する。
- 定期総会 令和3年7月31日(土)
 - 役員・幹事・支部長会 令和3年10月9日(土)【石鳥祭】※中止した。
令和4年3月20日(日)【学位記授与式】【書面会議】

3 育友会支部懇談会の開催

- 定期総会にあわせて支部懇談会を行う。
- 東北6県で開催する支部懇談会(11月下旬から12月上旬)
開催地域 青森市(青森県)、秋田市(秋田県)、北上市(岩手県)、山形市(山形県)、仙台市(宮城県)、福島市(福島県)
開催日 ① 11月27日(土)、28日(日)
② 12月4日(土)、5日(日)
③ 12月11日(土)、12日(日)

4 大学祭への参加

- 育友会の企画として大学祭に参加する。大学祭への参加は、育友会の活動を来場者に広く周知するとともに、育友会員同士の交流を促すことを目的に試行的に実施する。企画の実施が可能な場合 『餅つき体験と餅の振る舞い』
※企画の実施ができない場合は、石鳥祭実行委員会の要望に沿った支援を行う。

5 学生への助成

- 3年次生が就職活動を開始するために必要となる就職活動用グッズを配付する。

6 学生に対する援助

- サークル活動に対する援助を行う。特に全国大会への出場等で特別な支出が必要となった際(硬式野球部、女子競走部、弓道部等)には手厚く支援する。
- 学生会主催行事があった場合には援助を行う。

7 卒業記念行事

- 大学及び同窓会と提携して、令和4年3月20日(日)学位記授与式挙行後、「卒業を祝う会」を実施する予定であったが中止とした。

8 福利厚生費の活用

- 学生の安全と安心につながるための、防災用品および備蓄品等を購入するための経費として大学へ寄付する。
- 学生生活の環境を充実させるため、昨年度全学部学生に電子体温計を配付したことから、今年度の1年次生にも電子体温計を配付する。

9 活動強化事項

- 大学と家庭(会員:保護者)との連絡強化を図るため、支部懇談会への参加者を増加させる取り組みを行う。
- 支部ごとに会合等を開催する場合には地方支部交付金を支給し、経費の補助を行う。
- 支部懇談会では、地元で活躍する卒業生又は就職活動で内定を得た4年次生の就職活動体験報告を行う機会を設ける。

以上

石巻専修大学 育友会会則

平成3年4月1日 制定

■名称

第1条 この会は、石巻専修大学育友会(以下「本会」という。)と称する。

■目的

第2条 本会は、石巻専修大学(以下「大学」という。)の方針に則り、大学と学生の家庭との連絡を緊密にして大学の発展向上に寄与し併せて会員相互の親睦を図ることを目的とする。

■本部及び支部

第3条 本会は、本部を大学内に置き、全国の必要な地区に支部を置く。
2 支部細則は、別に定める。

■会員

第4条 本会は、次の会員をもって組織する。
(1) 正会員 大学の学部内に在籍する全学生の父母又はこれに代わる保護者
(2) 特別会員 大学に勤務する教職員

■事業

第5条 本会は、次の事業を行う。
(1) 学生の学業・徳操並びに生活に関し家庭との連絡を図る事項
(2) 学生の厚生・保健並びに医療の助成に関する事項
(3) 学生の研究助成並びに経済援助に関する事項
(4) 教職員と父母との懇談会を開催する事項
(5) その他本会の目的を達成するために必要な事業

■運営経費

第6条 本会の運営経費は、会費及び寄付金をもって充てる。

■会費及び寄付金

第7条 正会員は、会費として別に定める金額を、毎年度の始めに納入しなければならない。
2 寄付金がある場合は、随時本会へ納入する。

■役員

第8条 本会に、役員として会長1名、副会長4名以内、監査役2名及び幹事若干名と各支部に支部長を置く。

■役員を選出

第9条 会長、副会長及び監査役は、幹事会において選出し、総会において報告するものとする。
2 幹事は、会員の中から会長がこれを委嘱する。
3 支部長は、各支部において選出し、会長がこれを委嘱する。

■役員任期

第10条 本部役員任期は、4月1日から翌年3月31日までの1年とする。ただし、再任を妨げない。

■役員職務

第11条 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
2 会長が不在のとき、又は欠けたときは、副会長がその職務を代行する。
3 副会長は、会長を補佐する。
4 監査役は、会務及び会計を監査し、総会に報告する。
5 幹事は、会長の命を受け、必要に応じてこの会の業務を行う。
6 支部長は、各支部を掌握し、本部との連絡を緊密にする。

■会議の招集

第12条 本会に、総会、幹事会、常任役員会及び支部長会を置き、それぞれ会長が招集し、その議長となる。

■会議の構成及び開催

第13条 総会は、正会員と特別会員で構成し、定期総会と臨時総会を開催する。
(1) 定期総会は、年1回開催する。
(2) 臨時総会は、必要に応じて開催する。
2 幹事会は、常任役員会構成員及び幹事で構成し、必要に応じて開催する。
3 常任役員会は、会長、副会長、監査役及び育友会主任で構成し、必要に応じて開催する。
4 支部長会は、常任役員会構成員及び各支部長で構成し、定期に年1回開催する。

■会議の審議事項及び議決

第14条 総会は、予算、決算及び事業計画、その他重要事項を審議する。
2 幹事会は、総会提出議案、その他重要事項を審議する。
3 常任役員会は、総会並びに幹事会における決定事項を執行し予算案及び決算書類を作成し、その他重要事項を審議する。
4 支部長会は、地方懇談会の開催、その他重要事項を審議する。
5 第1項及び第2項の議決は、出席会員の過半数の同意によるものとする。

■名誉顧問、顧問及び相談役

第15条 本会に、名誉顧問、顧問及び相談役を置くことができる。

■育友会主任及び事務職員

第16条 本会に、大学より選任された育友会主任及び事務職員を置く。
2 育友会主任は、大学の教授若しくはこれに準ずる者とし、その任免権は学長に帰属する。
3 育友会主任は、大学選出の役員として常任役員会、幹事会、総会等に出席し、本会の運営に対して助言と指導を行う。
4 事務職員は、大学職員とし、その選任は学校法人専修大学理事長の所管とする。
5 事務職員は、本会の経理及び会務を掌する。

■資産管理

第17条 本会の資産管理の責任は、会長及び常任役員会が負うものとする。

■会計年度

第18条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

■会則の改廃

第19条 この会則の改廃は、総会の議決によらなければならない。

■附則

この会則は、平成3年4月1日から施行する。
この会則は、平成7年7月22日から施行し、平成7年4月1日から適用する。

令和三年度 育友会収支予算書

[自]令和3年4月1日 [至]令和4年3月31日

●収入の部

単位:円

科 目	三年度予算額(A)	二年度予算額(B)	対前年度増・減(A)-(B)	備 考
① 会費	13,860,000	13,560,000	300,000	会費@10,000×1,386名
② 雑収入	1,000	1,000	0	預金利子
収入計	13,861,000	13,561,000	300,000	
前年度繰越金	7,811,592	3,011,674	4,799,918	
合 計	21,672,592	16,572,674	5,099,918	

●支出の部

単位:円

科 目	三年度予算額(A)	二年度予算額(B)	対前年度増・減(A)-(B)	備 考
① 会議費	113,000	113,000	0	
総会費	50,000	50,000	0	定期総会開催費
役員会費	60,000	60,000	0	常任役員・幹事・支部長会開催経費
その他の会合費	3,000	3,000	0	大学関係者との会合開催経費
② 通信費	1,900,000	1,800,000	100,000	
会報発送費	100,000	100,000	0	『いくゆう』発送費
ニュース専修発送費	1,100,000	1,000,000	100,000	発送費(年11回)
その他の通信費	700,000	700,000	0	育友会案内発送費、学業成績発送費、事務連絡発送費、はがき代、切手代
③ 事務費	1,860,000	1,860,000	0	
旅費交通費	1,010,000	1,010,000	0	常任役員・幹事・支部長会の旅費交通費
消耗品費	500,000	500,000	0	事務用消耗品、公衆衛生用消耗品、大学祭参加のための消耗品
事務委託費	350,000	350,000	0	ニュース専修発送手数料、『いくゆう』発送委託料
④ 印刷費	900,000	900,000	0	支部懇談会等資料印刷、封筒印刷、『いくゆう』制作・印刷
⑤ 支部懇談会費	2,800,000	2,800,000	0	会場借料、懇談会食事代、担当者旅費交通費、外部講師講演代、卒業生等の講話謝礼金、支部懇談会打合せ代
⑥ 支部交付金	140,000	140,000	0	地方支部運営交付金(会合費等の補助)
⑦ 学生助成金	300,000	200,000	100,000	就職活動用グッズ等購入代
⑧ 学生援助費	5,000,000	5,000,000	0	サークル活動援助金(強化指定団体・全国大会出場団体等を重点的に支援)
⑨ 卒業記念費	220,000	220,000	0	「卒業を祝う会」開催経費
⑩ 慶弔費	100,000	100,000	0	会員・学生の慶弔費
⑪ 福利厚生費	2,500,000	2,500,000	0	防災用品および備蓄品等の経費、学生生活の環境を充実させるための経費として電子体温計代(1年次生361名分)
⑫ 雑費	120,000	120,000	0	銀行振込手数料
⑬ 予備費	5,719,592	819,674	4,899,918	特別な支出が必要となった場合の経費
合 計	21,672,592	16,572,674	5,099,918	



石巻専修大学の方針に則り、学部のご父母(保護者)の皆様を正会員とし、大学と家庭との連絡を密にして、学生のより良いキャンパスライフと大学の発展向上に寄与し、併せて会員相互の連携を図ることを目的として設置されているのが育友会です。大学内に本部を置き、会員の多い県に支部を設置し、さまざまな活動を行っています。

育友会は各支部の活動をサポートいたします

支部懇談会以外にも保護者同士のつながりを増やしたい、支部の活動を充実させたい、など育友会の活動に要望がございましたら、お近くの支部にご連絡ください。各支部と連携し、より良い体制づくりを進めてまいります。

ご連絡 石巻専修大学 育友会
TEL.0225-22-7743

学長メッセージ

Message from the President

学生生活満足度の向上を目指し、
皆様の声を活かした改革を進めてまいります。

石巻専修大学

学 長 尾 池 守



育友会のご家族の皆様と 大学を結ぶ信頼の架け橋

育友会会員の皆様には日頃より石巻専修大学に対してご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。育友会は学生諸君のご家族の皆様と大学とが、より緊密に連携を図るための組織です。育友会の活発な活動を基盤とした本学に対するご提言は、大学のこれからを考えるうえで、極めて重要なことと受け止め、学業や進路だけでなく、健康や住居等さまざまな観点から学生諸君を支援すべく具体的な改善を進めています。

育友会の活動の中でも最大の事業であります「支部懇談会」は、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受けながらも、感染対策を徹底し、東北6県6会場で展開いたしました。支部懇談会におきましては、大学の様子を会員の皆様にお伝えするとともに、学業や就職の課題など、会員の皆様と教職員が個別に情報交換をさせていただいております。

「中長期ビジョン」に基づく教育改革

石巻専修大学は創立30周年を迎えた令和元年を改革元年とし、10年後を見据えた「中長期ビジョン」に基づく教育

改革を進めています。時代の変化と社会の要請に対応するため、令和3年4月には経営学部情報マネジメント学科を新設しました。さらに令和4年4月には、理工学部と人間学部の教育課程の新編を行います。

本学では今後も多くの皆様のご意見やご要望に応えながら、学びの質的向上はもちろん、より満足度の高い学生生活をバックアップしてまいります。入学後のミスマッチを防ぎ、融通性の利く学びの場を実現するため、他学科の科目も選択できるジョイントプログラムなどを実施しております。

ご子女には5年後、10年後を見据えながら「これなら勝てる」「これこそ得意」というものを見つけ、社会に出ても生涯学び続けることができる人材に育ててほしいと願っております。これからもご子女が自分の夢の実現に向けて、大きな希望を胸に大学を巣立っていただけるよう、育友会の皆様のご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



石巻専修大学 中長期ビジョン (2020~2024年度)

1. 社会の諸課題解決に活用できる知識・技能を修得した人材を育成する。
2. 教育研究活動を充実させる。
3. 学習の質を向上させる環境を整備する。

石巻専修大学育友会広報誌

【いくゆう】

IKUYU vol.28
2022.03

発行者／石巻専修大学育友会 〒986-8580 宮城県石巻市南境新水戸1

育友会に関するご相談がございましたら遠慮なくご連絡ください。

TEL 0225-22-7743

FAX 0225-22-7710

E-mail ikuyu@isenshu-u.ac.jp



●ホームページではキャンパスの最新情報を発信しています。

<https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/>